

みなさんとともに 住みよい高津へ

石田和子は市議 5 期 20 年の経験を今度は県政へ
小堀しょうこは石田和子の歩みを引きつぎ市政へ

●議会請願、保全活動が議会と市政を動かした

「かすみ堤を保存する会」のみなさんが取り組んだ「歴史と緑の保全を・災害時の避難場所としても残して」の議会請願は 07 年 8 月、全会一致で採択、川崎市議会は国に保全の意見書を提出。高津区役所は 08 09 年度、ワークショップを開催。2013 年、再度の議会請願は趣旨採択。高津区市議会議員懇談会は毎年度予算要望書にかすみ堤保全を盛り込み市長に提出。



防災・減災のため「かすみ堤」保全！住民の 10 年の運動が議会と市政動かす！

2007 年、江戸中期の治水の歴史を語る土木遺産である久地かすみ堤の売却計画が突然国から示されました。石田和子議員は 07 年 5 月、6 月に住民のみなさんと市環境局に緑地の保全を、京浜河川事務所に売却中止を要請し、高津区長への要望書提出に同席しました。

●防災の位置づけをあげて保全を！ 2016 年 6 月議会で要望

石田和子議員は、全国でゲリラ豪雨が頻発し、2015 年 9 月の関東・東北豪雨では、鬼怒川と渋井川の堤防が決壊、茨城県や宮城県で多大な被害が発生していると述べ、防災の観点から保全するよう国との協議を高津区長、建設緑政局長に要望。

●2017 年 2 月、国は防災・減災を図るため、「かすみ堤」を将来にわたり所有し、河川として保全すると決定！

久地小児童の課外学習の場、さくら祭り、秋のお祭り等地域の大切なコミュニティーの場となっています。

浸水被害の再発防止対策すすむ 現場に直行、議会で対策を迫る

溝口・久地



07 年 9 月大型台風の直撃で多摩川の大増水により、平瀬川が逆流、水門から溝口 6 丁目と久地 2 丁目に床上浸水が発生。石田和子議員は現地に直行、被害状況や水門の開閉の問題点を聞き、議会で 3 回質問。08 年 10 月、浸水対策が完了。

二ヶ領用水本川

2010 年 12 月の集中豪雨では二ヶ領用水本川と平瀬川の合流地点で付近住戸が床上浸水、住民から被害状況や円筒分水へ用水を供給する水門の自動開閉システムの問題点を聞き議会で質問。市は学識経験者も入った調査委員会で検証を行ない、1 年 8 月増水時の自動水門操作設定等の遅れを認め対策をとる。

新年度予算で 教育環境の改善

西高津中、校舎（長期保全工事費と全トイレ改修の設計費）

* 西高津中の校舎の屋根・外壁補修、照明改修などの工事費が 2019 年度予算に。校舎・体育館のトイレ快適化の設計予算も計上されました。石田和子議員は 2015 年 6 月議会で西高津中のトイレの悪臭や配水つまり、配水管の老朽化の実態をあげ全トイレの早急な改修と長期保全計画を急ぐべきと質問しました。



久地小、校舎（長期保全工事の設計費）

* 久地小は築 31 年以上の学校で防水・外壁補修、普通教室、特別教室に空調設備、トイレ改修、エレベーター設置、内装改修、断熱化等の設計予算案で 18 年度からの継続です。

平瀬川の護岸の安全対策と側道の補修を求めます



要望した久地 2 丁目地内の平瀬川側道の改修を引き続き求めます。

護岸道路が河川側に引っ張られているのではという住民の声もあります。大規模な変状で現在、上作延小付近の平瀬川護岸工事が進行中。殿下橋から新井台橋まで約 1,1 キロの計画です。下作延、久地など下流の調査と安全対策を求めます。



参議院・比例
しいばかずゆき



参議院・神奈川
あさか由香

消費税 10% 増税中止
憲法 9 条「改憲」ストップ
原発ゼロの日本
高津区から安倍政治にサヨナラ